

忘れられない怖い経験

日本は自然災害の多い国です。そのため、災害の予防のみならず災害後の対応についても豊富な経験を備えていて、日本国民の多くは普段から高度な防災意識を持っています。

ところで、一旦自然災害に巻き込まれたら、その怖さは絶対に一生忘れられません。私がまだ4歳の時、洪水に遭いました。それはある夏の午後のことです。父は、慌てて昼寝中の私を起こし、「早く逃げよう！！」と、叫んでいました。僅か4歳児の私は泣いてばかりで、何をすべきか全然分かりませんでした。家の中はあっという間に水がいっぱいになり、大事なおもちゃが洪水に流されたのを見た私はもっと激しく泣いてしまいました。

父は私を背負って、道路の向こう側とつないだロープをつたって、膝くらいの深さの洪水の中を渡り、道路の向かい側にある建物の3階に連れて行きました。そして、父は私を残してまた家に戻りました。私は一人ぼっちで恐ろしい夜を過ごしました。夜明け後、知らない人が私を避難所に連れて行って、美味しいお粥を食べさせてくれました。

その日の夜、両親がようやく私を見つけました。父と母の顔を見るや否や、私はまた大声で泣き出してしまいました。

そのことを思い出すと、いまだに怖いです。